

# 平成20年度 南丹市事業評価表 (平成19年度 実施事業)

事業CD. 4317 事業名: 子育てすこやかセンター管理運営費  
 細事業名: \_\_\_\_\_

政策体系上の位置付け (参考)  平成20年度～ 総合振興計画実施事業

政 策: 第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る  
 基本施策: 1 安心して子育てできるまちをめざす  
 主な施策: (1) 地域全体で子育てを支援する仕組みづくり

所管部署名  
 部局名: 福祉部  
 課名: 子育て支援課

科目CD. 1030202 作成日 平成20年10月30日

事業分類: C1: 施設管理費  
 新規事業  時限事業 (平成 年度迄)

実施根拠 (法令、条例等)  
南丹市子育てすこやかセンター条例、南丹市子育てすこやかセンター運営規則

事業運営方法  直営  一部委託  全部委託  補助等

委託先  民間  三セク  NPO  学校  自治会・地縁団体  
 その他 ( )

## 事業概要

◆ 課題・目的 (どのような課題を解決するために実施した事業なのか)  
 南丹市子育てすこやかセンターは、低年齢児童の在宅児とその保護者に対する子育て相談や情報の提供、子育てサークルへの支援等を目的としている。

◆ 活動内容 (具体的にどのような活動を行ったのか)  
 就学前児童とその保護者に対する子育て相談や情報の提供、子育てサークルへの支援、子育てボランティアの育成、さらには保健師や学校等と連携し地域子育てセンターを各地域に設置するなど、子育ての楽しさや喜びの輪を広げる活動を推進する。

◆ 対象 (この事業を実施するにあたり、ターゲットとした者(物)は何か)  
 児童及び子育て中の保護者

◆ 結果 (この事業を実施したことにより、どのような効果または結果が得られたのか)  
 本市全体の保育力の向上につながる取り組みを推進するもの。相談所などとも連携を図りながら、子育て支援活動を展開している。

指 標		単位	18実績	19実績	20予算	21計画
活動指標	① 学習資料の購入			精 査 途 中		
	② 講座の種類					
	③					
	④					
	⑤					
対象指標	① センター利用者			精 査 途 中		
	② 福祉活動参加者					
	③					
成果指標	① 学習資料の充実度			精 査 途 中		
	②					
	③					

市民や議会等からの要望・意見 (要望や意見の内容とその内容を確認した手段は何か)

近隣市町村や民間企業での同種事業の実施状況

決算(予算)額	(千円)	650	603	2,155	2,680
財源内訳	使用料・手数料等	(千円)	0	0	0
	国・府支出金	(千円)	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0
	一般財源	(千円)	650	603	2,155
職員従事時間	(人)		0.00		
人件費 ※	(千円)		0		
トータルコスト ※	(千円)		603		

※人件費は、職員の給与・諸手当・共済などから、一定の基準に基づき算定したおおよその額です。  
 ※人件費およびトータルコストは、あくまでも参考値です。

【公共性の評価】

- (1) 行政の守備範囲 (民間や市以外の機関等が実施すべき事業ではなかったか)
- 法令等により定められた事業     市が実施すべき事業     行政内部の事業
- 民間等での実施は見込めない     民間等での実施も可能

説明: 少子化対策として市が実施する。

- (2) 事業選定の妥当性 (事業の目的や意図が政策や施策の目指す方向にあっているか)
- 施策等の実現に向けた事業     施策等の方向とマッチしていない

説明: 少子化対策を進める事業である。

- (3) 対象の妥当性 (事業の本質から考えて的を得た対象を定めているか)
- 本質に沿った対象である     的を得た対象となっていない

説明: 子育て世代や市民への支援事業となっている。

【有効性の評価】

- (4) 課題解決への有効度 (目的の達成や、課題解決のために有効的な事業か)
- かなり有効的     当初の予想どおり     予想しても有効的でなかった

説明: 拠点として活動でき有効である。

- (5) 施策実現に対する有効度 (総合計画の施策実現に対して有効的な事業か)
- かなり有効的     当初の予想どおり     想定よりも有効的でなかった

説明: 環境の整備に有効である。

- (6) 成果向上の余地 (施策実現に向け更なる成果向上の余地はあるか)
- 大きい     小さい     無い

説明: 地域センター等の充実が求められている。

- (7) 類似事業との統合・再編・連携の余地 (他の類似事業と統合や連携ができないか)
- 統合や連携等の検討可能     統合や連携はできない     類似事業がない

説明: 子育てしやすい環境整備の中で検討する。

新たに生じた課題・解決できなかった課題等

改革案 (いつ、どのような改革を、どのような手段で行うのか)

【緊急性の評価】

- (8) 課題解決への緊急度 (なぜ早期に実施しなければならなかったか)
- 法令等により期限がある     他事業よりも効果が大い     早期の取り組みが必要
- 他事業よりも優先度が高い     市民の生命・財産を守るため     緊急性は低い

説明: 子育てを支援する拠点づくりが求められていた。

【効率性の評価】

- (9) コスト削減の余地 (事業内容、職員労力、仕事の進め方などから)
- 削減の余地あり     削減の余地なし

説明: 地域センターの充実が求められている。

- (10) 受益者負担の適正 (社会状況等から受益者の負担は適正か)
- 正当な受益者負担     見直す必要あり     負担を強いる事業ではない

説明: 管理運営事業であり、負担を求めるものではない。

【協働性の評価】

- (11) 市民との協働による事業実施 (協働による実施を検討したか)
- 協働事業には不向き     協働では実施していない     協働で行ったが主体は行政
- 協働で行ったが住民主体は一部     市民等が主体となって実施

説明: 地域住民と協働で行っているが、管理運営は行政で行っている。

- (12) 協働事業としての推進の余地 (今後、協働による推進できる余地はないか)
- 余地あり     余地なし

説明: 管理運営の部分であり、余地はないと考える。

所 属 長 総 括 評 価

南丹市の少子化対策の事業を支えるセンターの管理事業であり、センター事業の充実とともに、継続して事業の実施を行う。

※事務局使用欄

一次評価	廃止	施設を廃止するというのではなく、地域子育て支援事業と統合する方がよい。
二次評価	要改善 (拡大)	地域子育て支援事業とともに、安心して子育てができるよう支援する拠点としてセンターの役割は大きく、活動状況また利用状況からみても、必要性は高く、事業も大きな効果があると評価している。 今後も、センター活動を充実して、より地域に密着した総合的な子育て支援の拠点として位置づけ、より効果的な事業展開を図っていく。